

福岡県居住者の生活意識に関する アンケート調査結果報告書

2009年10月
株式会社ジーコム生活行動研究所

Marketing & Development
G:COM

1. 調査方法

弊社アンケートモニター「コムネット」に対するインターネット調査

2. 調査対象

福岡県在住の20歳以上の男女

3. 調査時期

平成21年8月12日(水)～25日(火)

4. 調査内容

この生活意識調査は弊社が年に1回実施している定点調査である。各質問項目は「そう思う」～「そう思わない」までの5段階評価で回答を得ている。

5. 調査規模

349サンプル

【標本構成】

性	件数	構成比(%)
男性	183	52.4
女性	166	47.6
全体	349	100.0

年代	件数	構成比(%)
20代	72	20.6
30代	72	20.6
40代	75	21.5
50代	70	20.1
60代以上	60	17.2
全体	349	100.0

職業	件数	構成比(%)
会社員	122	35.0
会社役員	9	2.6
公務員・団体職員	18	5.2
自営業	25	7.2
自由業	8	2.3
パート・アルバイト	41	11.7
専業主婦	74	21.2
学生	15	4.3
無職	30	8.6
その他	7	2.0
全体	349	100.0

未婚	件数	構成比(%)
未婚	103	29.6
既婚	246	70.4
全体	349	100.0

居住地	件数	構成比(%)
福岡都市圏	264	75.6
その他福岡県内	85	24.4
全体	349	100.0

【報告書の見方】

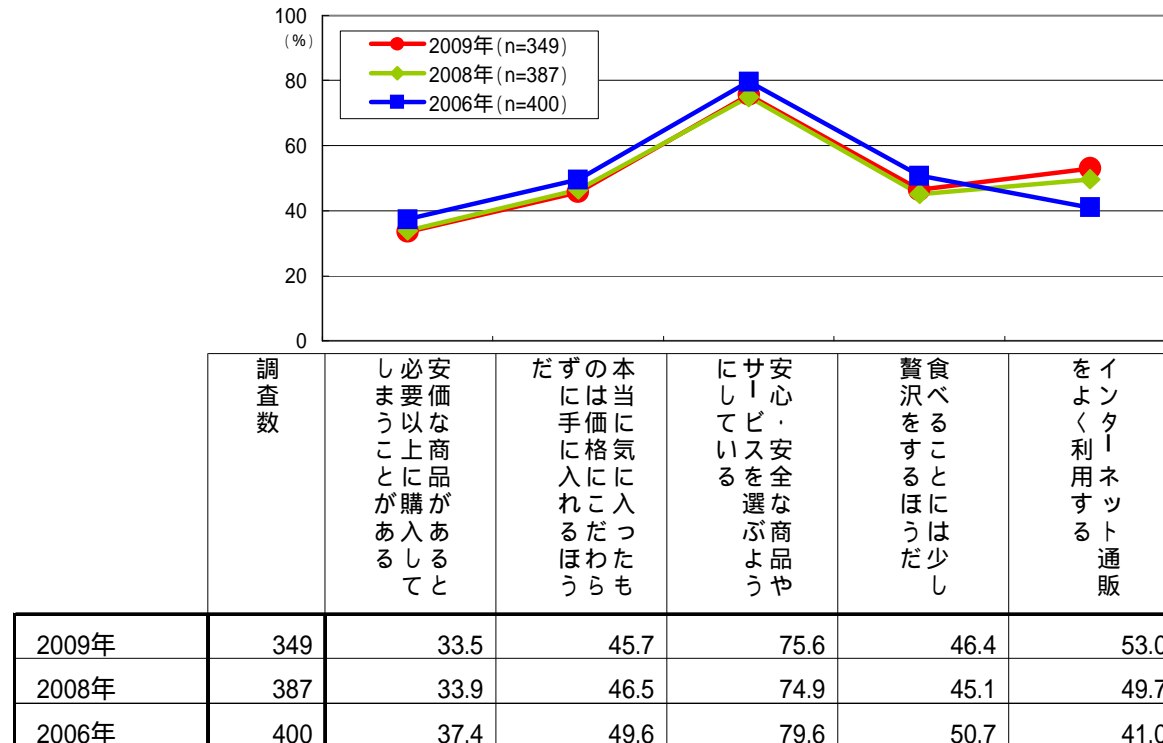
- ・本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比(%)で示してある。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- ・複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- ・報告書中の図表では、コンピューター入力の場合、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。

節約志向が顕著な中、インターネット通販の利用は伸びている

「安価な商品があると必要以上に購入してしまう」「本当に気に入ったものは価格にこだわらず手に入れる」「食べることは少し贅沢をするほうだ」などは微減傾向で、節約意識がうかがえる。

一方で、「インターネット通販をよく利用する」は増加しており、今回の調査では5割を超えた。

消費行動・意識(肯定層-「そう思う」+「ややそう思う」のみ)【それぞれ単一回答】



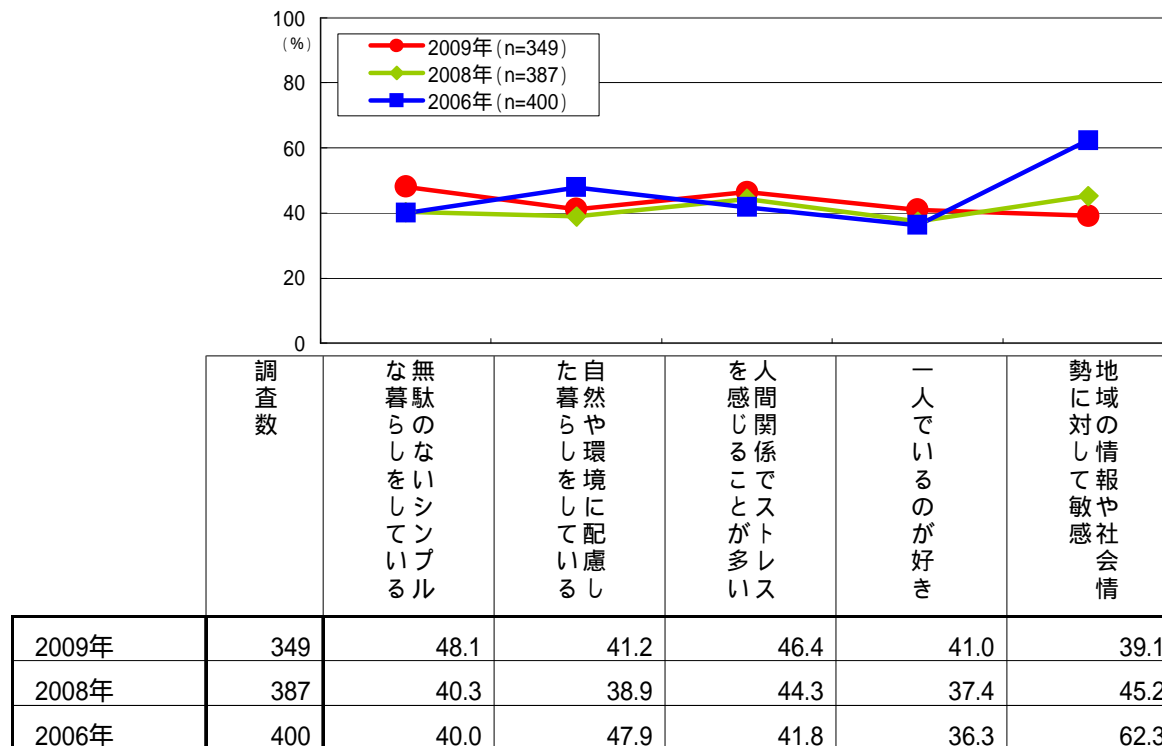
* 2006年調査は2006年2月、2008年調査は2008年9月に実施

生活者意識は内向きで、無駄のない生活志向

「無駄のないシンプルな暮らしをしている」は今回8ポイント近く増加した。

「人間関係でストレスを感じることが多い」「一人でのいるのが好き」が微増の一方で、「地域の情報や社会情勢に対して敏感」は引き続き減少傾向にあり、生活者の意識が内向きになっている様子が見える。

生活意識・行動(肯定層-「そう思う」+「ややそう思う」のみ) 【それぞれ単一回答】



* 2006年調査は2006年2月、2008年調査は2008年9月に実施

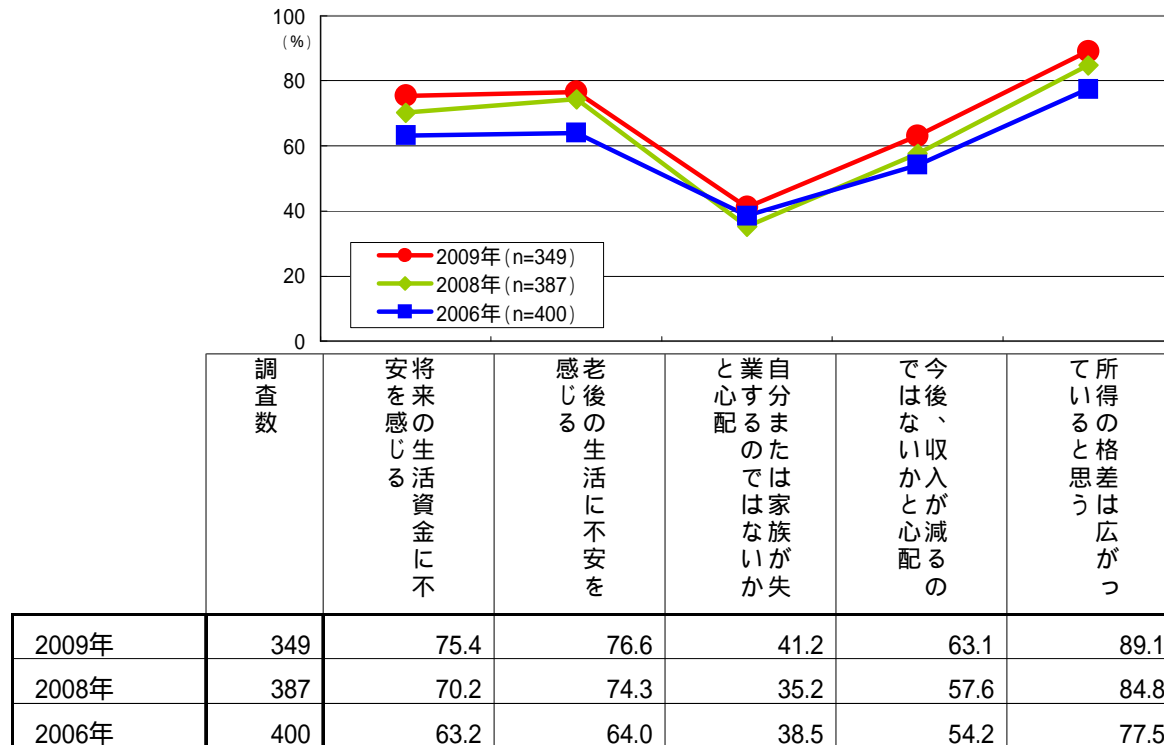
3. 将来不安

将来不安は増加しており、失業に関する不安も4割を超えている

将来不安に関するすべての項目で肯定層の割合が増加しており、特に「将来の生活資金に不安を感じる」「老後の生活に不安を感じる」については3年間で10ポイント以上上昇している。「自分または家族が失業するのではないかと不安」は今回4割を超えた。

「所得の格差は広がっていると思う」については肯定層の割合が9割近くに及んでいる。

将来不安(肯定層-「そう思う」+「ややそう思う」のみ)【それぞれ単一回答】



* 2006年調査は2006年2月、2008年調査は2008年9月に実施

発行元：株式会社ジーコム 生活行動研究所

福岡市博多区古門戸町2番4号 KSコモンドビル4F

TEL 092 - 283 - 2085

FAX 092 - 262 - 6110

URL : <http://www.gcom-net.co.jp/>

E - mail : info@gcom-net.co.jp